

新世代のための月間に寄せて



パストガバナー

岡部泰鑑 (大阪城南RC)

9月は新世代青少年のための月間です。

各ロータリアンの責務は年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすための新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されている。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発である。新世代のためのR I常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換がある。

(2010手続要覧 第10章 新世代奉仕 より)

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代の将来への準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務である。すべてのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むよう奨励されている。

(ロータリー章典 新世代奉仕部門 より)

当地区としては、新世代青少年の健全な教育を目指して5つのプログラムが常設されています。

- ①ロータリー青少年交換
- ②ニコニコキャンプ
- ③インターアクト
- ④ローターアクト
- ⑤ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

です。

永い歴史の中でロータリアンは、それぞれの地域で青少年の支援に力を注いできました。

R I戦略計画は5つの奉仕部門でバランスの取れた活動を行うことを目指しています。

その活動によっては、複数の部門に当てはまるものもありますが、新世代青少年奉仕は冒頭の手続要覧、ロータリー章典の引用部でも述べましたが、若者のためのロータリアンによる活動価値を認め、そうした活動をさらに広げるよう各クラブに奨励するものです。

その土台には「すべてのロータリアンには若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼等の人間的・職業的成長を支援する責務がある」という考え方がありません。簡単に申し上げれば、すべての若者に色々なチャンスを我々が与えることです。

しかし、そのすばらしい活動の中で注意すべき点が多々あります。その一端として、手続要覧(P125から)に掲げられています。

- 青少年と接する際の行動規範に関する声明
- 虐待およびハラスメントの防止
- 青少年保護法の順守を怠った場合
- 青少年交換学生の国外旅行
- 新世代のための月間
- インターアクト
- ローターアクト
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

以上のことが詳しく記されています。必ず一読下って、次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長することをお手伝いし、我々も若者の模範となる常々の精神こそがロータリー人生と思います。